

令和 4 年度 墨田区立第三吾嬬小学校 経営報告書

令和 5 年 3 月 2 日

| | |
|-------------|--|
| 学 校 目 標 | 自立 自ら学び、考え、行動する人 共生 思いやりをもち、共に生きる人 健康 しなやかで丈夫なところとからだをもつ人 |
| 目 指 す 学 校 像 | 「すべてはみんなの笑顔のために」 三吾小に集う子供、保護者、地域、そして教職員、すべての人の笑顔あふれる学校 |
| 目 指 す 子 供 像 | 「教養と品格と」を身に付けようとする子供 「学ぶ」ということを通して、「思いやり」の上に立つ「思考力・判断力・表現力」「行動力」を身に付けようとする子供。そのために、主体的(proactive)に生きる子供 |
| 目 指 す 教 師 像 | ①教育への情熱と使命感にあふれた教師 ②自らも学び、子供とともに感動することのできる教師 ③社会人としての教養と品格のある教師 |

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|--------|---|------|---|----------|---------|
| | | 達成状況 | 【分析】 | 自己評価について | 改善策について |
| 各教科等指導 | <p>【確かな学力を育てるための、分かりやすい授業の実施等】</p> <p>① 学力向上委員会を中心に、組織的な取組を進め、基礎学力の向上を図る。</p> <p>② R3 改訂版「家庭学習の手引き」を活用し、知識・技能の確実な定着と主体的な学習の習慣を身に付けさせる。</p> | B | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員アンケートで「組織的・計画的に各学習月間等に取り組んだ」肯定的回答 90%以上 達成(100%) ・R4 算数実力テスト(1月実施)において、標準偏差平均が昨年度比プラス2ポイント以上を達成。調査実施できず。 ・後期の学力診断テスト(業者テスト)の「思考・判断・表現」の習熟が平均 90%以上達成。未達成(校内平均 76%) <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート「学校は家庭学習推進の手立てを実施」肯定的回答 85%以上 ほぼ達成(84.2%) ・全学級の宿題の提出率 85%以上 達成(87%) ・児童ミライシード活用率 80%以上 未達成(66%) ・保護者アンケートで「家庭学習にしっかり取り組んでいる」肯定的回答 85%以上 未達成(78.8%) | 3.5 | ○ |
| | <p>【特別な支援を必要とする子供に対するの、組織的な支援等】</p> <p>① 特別支援校内委員会の充実を図り、個別の指導計画に基づき組織的・計画的な指導・支援を行う。</p> <p>② 特別支援教室「まなびの教室」との連携を図り、個々の児童にとってよりよい支援を探る。</p> | B | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員アンケートで「特別支援教育に関する研修を深め、児童の指導に役立てることができた」肯定的回答 85%以上 達成(85%) <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケート、対象児童の学級担任の90%が「まなびの教室との連携を図り、児童への支援が充実した」と回答。未達成(82%) ・当該児童のアンケートで、まなびの教室への満足度が 90%以上。達成(94.5%) | — | — |

様式 4

| | | | | |
|---|--|--|-----|---|
| <p>③ 不登校傾向、集団生活になじめない児童への個に応じた支援</p> | | <p>③ 「みどり」を利用する児童の聞き取りによる満足度が良好。 達成</p> | | |
| <p>【社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等】 保護者・地域の協力を得て、職業についてのキャリア教育特別授業を10月15日に実施する。</p> | C | <p>・経営支援部を中心に特別授業を企画。ゲスト・ティーチャーを8名以上招き、特別授業を実施する。今年度は、これまでなかった業種の講師に声をかける。 未達成(28回) ・5,6年生児童アンケートで88%以上の児童が「職業についての意識が高まった」と回答。 達成(89.5%)</p> | 3.3 | ○ |
| <p>【教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組等】 シンキングサイクルとICT機器を効果的に活用し、算数における表現力の育成を図る。</p> | B | <p>・6回の研究授業・協議会を行い、講師の指導を受けながら、授業改善・開発に臨む。 実施 ・教職員アンケートで90%以上の教員が「積極的に研究に取り組んだ」と回答。 ほぼ達成(88.5%) ・R4算数実力テスト(R5・1月実施)の標準偏差が、昨年度比+2ポイント以上</p> | 3.6 | ○ |
| <p>【言語能力、コミュニケーション能力の育成】 校長室暗唱チャレンジの取組を行う。 今年度は、紙の配付は取りやめ、ロイロノートを活用し、オンライン配信とする。</p> | B | <p>① 日本語課題 各課題の合格者が全体の25%以上。 1月現在で達成(25.1%) ② 英語課題 各課題に合格者が全体の18%以上。 1月現在未達成(8.8%)</p> | — | — |
| <p>学校関係者評価委員会の意見等</p> | <p>・授業内容が見直され、自ら考える課題が増えていると考える。 ・タブレット端末の有効活用により学習に意欲的に取り組み、学習内容が定着できる。 ・タブレット端末の安全な使い方、授業以外の使い方は、少し注意が必要である。 ・タブレット端末の活用が他校と比べ多いと感じる。これが学習・学力の向上につながっているかの判断は、まだ時間がかかる。 ・教員の指導が良い。</p> | | | |

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|-------|--|------|---|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 生活指導等 | <p>【問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等】 基本的な人権を侵害する言動を「見逃さない、許さない」指導を徹底し、組織的に差別やいじめの防止に取り組む。</p> | C | <p>① ・認知したいじめ問題に校内委員会で100%対応、年度内に95%以上解決。 未達成(100%対応、解消見込み3件、経過観察2件) ② ・教職員アンケートで90%「組織的な対応を行っている」と回答。 達成(100%) ・不登校傾向のある児童が2%(12人)程度。 未達成(1月末28名)</p> | 3.4 | ○ |
| | <p>【基本的な生活・社会習慣、人間関係作りのための心の教育等】 三吾あいことばの徹底 特別活動を重視し、児童のリーダーシップの育成を図る。</p> | B | <p>① ・教職員アンケート、85%以上が「三吾あいことばを意識的、計画的に指導した」と回答。 達成(98%) ・児童のアンケートで、90%の児童が「三吾あいことばを自主的に意識して生活できた」と回答。 やや未達成(85.3%)</p> | 3.7 | ○ |

様式 4

| | | | ② ・教職員アンケートで、「児童の主体性を重んじる特別活動を実施」肯定的回答90%以上。達成(100%) ・児童アンケートで、「積極的に委員会・係活動に取り組んだ」肯定的回答90%以上。達成(91.5%) | | |
|---------|---|--|---|----------|---------|
| | 【安全を確保するための取組等】 定期避難訓練、安全指導、セーフティ教室、不審者対応訓練を徹底し、児童に危機回避能力の育成を図る。 | B | ・全学級で、適切な教材を使用した効果的な防災教育を毎月実施。感染の状況を見て、集団での避難行動を実施する。実施 ・予告なしの訓練で避難完了まで5分以内。やや未達成 | 3.3 | ○ |
| | 学校関係者評価委員会の意見等 | <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に経過観察を行い、解決できていると安易にしていない。常に真摯に対応を行っている。 ・不登校等、課題が多くある。早期に発見できる体制作りを確立してほしい。 ・子供たちは、いじめとは思っていない場合があるので見極めが難しい。 ・児童が主体的に発信していくことを望む。 ・言葉遣いについての指導はありがたい。児童に強制ではなく、定着して身に付けるという取組は良い。 ・個人差があるので、考えて行ってほしい。児童にとって、なじみのない事柄があるように感じる。 ・各家庭の問題でもあるが、登校時に遅く来る児童が少し多い気がする。 ・感染対策については、十分できていると思う。継続して実施してほしい。 ・感染予防も大切だが、避難訓練などは必要なので続けてほしい。避難訓練や引き取り訓練には、児童館・学童も参加している。連絡体制など、とても良くてきている。 | | | |
| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 学校の管理運営 | 【経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等】 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケートで、90%の教職員が、「学校は組織的な対応がとられている」と回答。達成(100%) ・保護者アンケートで、学校への信頼度肯定的意見が93%以上 達成(93.6%) ・教職員アンケートで、95%の教員が、「当事者意識をもって研修を受講」と回答 達成(100%) ・サービス事故ゼロ。保護者アンケート等で、教職員のサービスに関する問題点の指摘がない。達成 | 3.7 | ○ |
| | 【子供の実態に合わせた教育目標設定及び評価等】 「第三吾孺小学校学校経営計画・学校評価表」に基づき、児童、教職員アンケート、に保護者アンケート調査を行い、教育活動の点検・評価を行う。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・年2回の児童、教職員アンケート、12月末に保護者アンケート調査を行い、教育活動の点検・評価を行う。実施 ・1月までにそのアンケート結果や、各種学力学習状況調査の結果を分析し、課題の解決に向けての改善策を立て、次年度の経営計画を作成する。実施 ・2月末までに、本年度の課題を改善する次年度の経営計画(案)を作成、3月の保護者会で説明することができる。達成 | — | — |
| | 【教育環境・設備等の整備状況等】 日々の巡回や、毎月の設備点検を行い、教育環境・設備等の整備状況を把握し、問題がある場合には教育委員会等との連携を図り、直ちに改善に努める。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の設備点検を実施。実施 ・整備不具合、不良箇所を放置した件数がゼロ。達成 | — | — |
| | 【働き方改革、ライフ・ワークバランスについて】 教職員の週あたりの在校時間 50 時間以内を目標に、 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケートで 90%以上が「目標勤務時間を意識して働くことができた」と回答 未達成(81.5%) ・60%以上の教職員の週あたりの在勤時間が50時間以内を達成。達成(66%) | 3.5 | ○ |

様式 4

| | | |
|--|---|--|
| <p>月あたりの平均時間外勤務 45 時間以内を達成させる。 【教職員の資質・能力の向上】 校内研究・研修会、および朝礼講話、INAHO による研修を実施</p> | <p>・ICT 機器を活用して、一人 1 回以上の朝礼講話を行う。 一人 1 回以上の原稿執筆を行い発表する。他の教員の講話や発表から、よいところを学び取り入れる。達成(98%) ・教職員のアンケートで、85%の教職員が各種研修が「自己の資質・能力の向上に一定の効果があった。」と回答。 達成(85%)</p> | |
| <p>学校関係者評価委員会の意見等</p> | <p>・継続し意識を高く取り組んでほしい。 ・よく説明しないと分からない点があると思う。 ・服務事故0%は、当然のことのようで大変なことである。 ・教員がいつも熱心に教育活動をしているのを学校公開などで見られる。 ・時間制限がある中で大変かと思うが、若手とベテラン、それぞれの良い部分を共有できるとよい。 ・「自分の考えを表現すること」を教員が朝礼の講話で手本を示し、児童が興味をもって聞くことができた。 ・業務改善に取り組まれ、遅くまで残業している教員が少なくなったと感じている。 ・職務改善は課題として大きいですが、現実解消するのは一朝一夕ではとても難しいと思う。もっとスクールサポートスタッフや事務員の導入などが取り入れられたらよい。</p> | |

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|---------|--|------|---|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 家庭・地域連携 | <p>【教育方針や日常の教育活動の様子などを伝える取組等】 保護者会、学校公開、土曜授業公開、「校長語らいサロン」等を通して、教育活動の公開と説明を行う。 学校便り、HP、動画配信の充実を図り積極的な情報発信に努める。</p> | A | <p>・土曜授業公開を月 1 回実施する。感染対策を講じても対面での公開ができない場合は、オンライン配信を行う。完全実施 ・学校便り、学年便りは月 1 回以上オンライン発行。 ・HP は週に3回以上の更新を図り、日英両言語での発信を行う。達成 ・保護者一斉連絡メールや、オンライン・アンケート調査を随時実施し、保護者の意識やニーズをつかむ。実施 ・保護者のアンケートで、85%の家庭が「学校は積極的に教育活動や内容の情報発信に努めている」と回答。高度に達成(95.9%) ・保護者アンケートで「学校の様子を把握できている」肯定的回答 88%以上 高度に達成(91.8%) ・HP 閲覧数昨年度比±0%以上 達成(1月末+1%)</p> | 3.8 | ○ |
| | <p>【保護者や地域の理解や協力を得た教育活動の推進等】 感染症予防対策を講じ、積極的に地域の教育力を学校教育に生かす</p> | B | <p>・10月15日(土)、保護者や地域の方をゲストティーチャーに招き、キャリア教育を実施する。実施 ・書道のゲストティーチャーを招き、習字の学習を行う。 ・図書ボランティア、学校図書館アドバイザー等と連携し、児童の読書環境を整え、読書活動の推進を図る。実施 ・児童アンケートで90%の児童が「ゲストティーチャーと行う学習のめあてを達成した」と回答。ほぼ達成(89.5%) ・図書貸し出し数、昨年度比+2%以上 高度に達成+7%</p> | 3.3 | ○ |
| | <p>【保護者・地域の意識の把握と啓蒙】 ① 学校公開、各行事、学校評価アンケートを実施し、保護者や地域の意識、要望や意見を広く聞き、経営改善に生かす。</p> | A | <p>①データによるエビデンスを元に改善策を立案し、保護者・地域に理解と協力を要請する。実施 ②土曜学校公開とあわせて、年5回以上の「語らいサロン」を実施する。達成(6回) ・「サロン」参加のべ 50 名以上 高度に達成(99名) ③はなみずき通り沿いの花壇を季節ごとの花で彩る。また、HP に英語の情報を掲載したり、各行事における児童による英語のアナウンスを取り入れたりする。実施</p> | 3.8 | ○ |

様式 4

| | | | |
|---|--|--|--|
| <p>② 校長「語りサロン」を開催し、直接保護者の意向を聞いたり、学校の方針を伝えたりする。</p> <p>③ 学校の環境を整え、明るくアカデミックな印象を演出する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者アンケートで 85%の保護者が、「学校は保護者の意見を取り入れ、経営改善を図っている」と回答。 やや未達成(81.6%) ・ 保護者アンケートで保護者の満足度として 93%の家庭が「子供を第三吾嬭小学校に入学させてよかった」と回答。 達成(93.6%) | | |
| <p>学校関係者評価委員会の意見等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の状況の発信や授業公開を通して保護者に学校の思いが伝わり、保護者が認知できている。 ・ 「三吾小に入学してよかった」の評価が前年度から落ち、残念である。 ・ 実際に児童の様子、クラスの雰囲気を見て知ることでも大事なので、保護者が見る機会が増えてよかった。 ・ 継続して実施してほしい。 ・ 本物を見せるということは、とても良いことだと思う。 ・ ゲストティーチャーは児童も楽しみにしているので、これからも実施してほしい。いろいろな大人と関わることで児童の考え方や視野も広がると思う。 | | |

2 令和4年度学校評価のまとめ

| |
|--|
| <p>長引くコロナ禍の中、保護者の理解を得て極力通常の教育活動を行うことを心がけ、多くの成果をあげることができた1年であった。同時に、コロナ禍の影響を受け、不登校傾向の児童の増加や特別支援の必要な児童の課題など、解決の困難な問題が累積した1年でもあった。特に、特別支援学級との連携に課題を感じている。(詳細は、本校独自の学校経営計画・学校評価票を参照)</p> <p>全般的には、児童の主体性の育成を図る中期計画の1年目として、授業改善をはじめとする学校改革に取りかかった。子供たちへの意識付けはできたところで、来年度から更に学校の研究テーマに据え、全教育活動を通じた改革に取り組んでいく所存である。</p> |
|--|

以上の通り報告いたします。

墨田区立第三吾嬭小学校 校長 川中子 登志雄 公印